

担当医/指導医		/	
目的	<input type="checkbox"/> 積極的治療		<input type="checkbox"/> 症状緩和
	<input type="checkbox"/> 術前補助		<input type="checkbox"/> 術後補助
告知程度	<input type="checkbox"/> 全告知 <input type="checkbox"/> 部分告知 <input type="checkbox"/> 未告知		
告知内容	<input type="checkbox"/> 癌(原発・再発・進行)		
	<input type="checkbox"/> 抗癌剤を使用する		
服薬指導	<input type="checkbox"/> 依頼する		
	看護師() 薬剤師()		
身長: cm 体重: Kg			
体表面積 m ²	HBV感染スクリーニング	<input type="checkbox"/> 確認済み	

weeklyハーセプチン+ゲムシタピン療法

ハーセプチン ゲムシタピン	ハーセプチン ゲムシタピン	ハーセプチン
↓		
Day 1	8	15

1クール 3週間
ゲムシタピンは2週weekly投薬、1週休薬(day 15は休薬)ハーセプチンは毎週投与

投与開始日	年	月	日	クール予定
● ハーセプチン	初回	4mg/kg	毎週1回	投与量: mg 抜き取り量: mL
<体重あたりの換算式> 初回				抜き取り量(mL) = $\frac{\text{体重 (kg)} \times 4 \text{ (mg/kg)}}{21 \text{ (mg/mL)}}$
● ハーセプチン	2回目以降	2mg/kg	毎週1回	投与量: mg 抜き取り量: mL
<体重あたりの換算式> 2回目以降				抜き取り量(mL) = $\frac{\text{体重 (kg)} \times 2 \text{ (mg/kg)}}{21 \text{ (mg/mL)}}$
● ゲムシタピン	1250mg/m ²	Day 1, 8	計算量: mg	投与量: mg
(一般名ゲムシタピン、商品名ゲムシタピン)				

【投与スケジュール】			
Day1, 8	1) 生食 250mL	1V	90分
	ハーセプチン 初回 ()mg		初回投与の忍容性が良好であれば 30分間まで短縮可能
	2回目以降 ()mg		
	2) グラニセトロン点滴静注液 3mg 100mL	1V	30分
	デキサート 1.65mg	4A	
Day15	3) 生食 100mL	1V	30分
	ゲムシタピン ()mg		
	4) 生食 50mL	1V	ルートフラッシュ
	1) 生食 250mL	1V	90分
	ハーセプチン ()mg		初回投与の忍容性が良好であれば 30分間まで短縮可能

- ★ ゲムシタピン200mgバイアルは5mL以上、1000mgバイアルは25mL以上の生食に溶解。
- ★ ハーセプチンは初回投与時には4mg/kg(体重)を、2回目以降は2mg/kgを90分以上かけて(初回投与の忍容性が良好であれば30分間まで短縮可能)1週間間隔で点滴静注する。
- ★ ハーセプチンは、Infusion reaction に注意!
解熱鎮痛剤の坐薬をハーセプチン投与30分前に投与することを(特に初回)考慮する。
- ★ ハーセプチン投与開始前に心機能に問題がないことを確認する。

特記事項